

入札監視委員会の審議概要について

平成29年度第2回中国運輸局入札監視委員会が開催されましたので、審議概要を以下のとおりお知らせいたします。

開催日及び場所	平成30年3月19日 中国運輸局 会議室	
委員	水中 誠三 (水中綜合法律事務所 弁護士) 木谷 直俊 (広島修道大学 名誉教授) 三井 正信 (広島大学大学院 教授)	
審議対象期間	前回報告分以降 ~ 平成30年1月末	
抽出案件	総件数 47 件	(備考)
一般競争	1 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	46 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

平成29年度 中国運輸局入札監視委員会名簿

(構成:3名)

委員会役職	氏 名	職 業
委員長	水中 誠三	弁護士
委員	木谷 直俊	広島修道大学 名誉教授
委員	三井 正信	広島大学大学院 教授

質問	回答
一般競争入札	
【管内建築設備点検業務】 今回が初めての入札と言うことだが、これまでは実施していたのか。	以前は当局職員が点検を行い、一定規模以上は前から有資格者で行っていた。法改正によって7支局・事務所に拡大されたもの。
【管内建築設備点検業務】 予定価格よりも随分と低い価格で落札がされたようだが、問題なく履行はなされたのか。	支局での立ち会いと報告書で問題なく実施されていることを確認している。
【管内建築設備点検業務】 具体的にどのような業務をするのか。	国の建築設備などが問題なく作動等するかを点検する。具体的には照明設備、換気扇、排水などの点検である。
【管内建築設備点検業務】 入札参加者が4社というのは、担当者の予想と比べてどうか。	最低でも4～5社と考えていたため想定内である。
【管内建築設備点検業務】 今後もこの入札はあるということか。	来年度以降も実施する予定である。
随意契約	
【企画競争】 件数、金額ともかなり増加しているがなぜか。	webによる情報発信が増えた関係で件数も金額も増加している。
【企画競争】 情報発信は、SNSの活用が中心となってきているのか。	SNSを活用したいろいろな新しいサービスが出ている。インスタグラム・youtubeなど国際観光課でも初めての試みがある。SNSをきっかけに旅行先や店を決める人は多い。
【企画競争】 (訪日客増加への)効果は出ているのか。	SNSによる情報発信の効果か因果関係を確認するのは難しいが、観光客(宿泊客)は増えている。
【企画競争】 (webは)パンフレットよりアクセスしやすいのか。	影響力はかなりある。外国人が興味を持ついわゆる「刺さる動画」となるよう品質を上げていこうとしている。
【企画競争】 1社参加の案件は減ってはいるがまだある。対処はしているのか。	各事業者がそれぞれ複数の案件を受注し、手持ち業務量が多いことも影響していると考え。応募が増えるよう、事業者に声かけをするようにしている。
【企画競争(デジタルマーケティング強化)】 web構築は構築して掲載するまでの事業か。継続してやっていくのか。	国の事業費としては今年度までである。運営等は今後も(連携先などによって)継続して運営されていく予定である。
【企画競争(デジタルマーケティング強化)】 この事業でDMOなどのメリットは何か。	HPを改修したりしたことで情報の発信力が上がり、より見てもらえるようになる。海外の旅行会社にも知ってもらうことができる。
【企画競争(デジタルマーケティング強化)】 デジタルマーケティング調査事業全体の評価はどうか。	将来の部分(今後の打ち手)も含めて評価を報告書に記載してもらっている。来年度以降PDCAサイクルによってより良いものになっていくと思われる。

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。